

YWVOB会 会報 No.36

横浜国立大学ワンダーフォーゲル部OB会

YWV創部50周年記念号

<http://ywvob.com/>

2007年 8月31日発行

～ 36号（YWV創部50周年記念号）の目次 ～

・ 50周年記念事業実行委員会より・・・1	・ YWV ホームページのお知らせ・・・7
・ 50周年記念式典のご案内・・・2	・ 横国大ホームカミングデーのご案内・・・8
・ 50周年記念懇親会のご案内・・・3	・ 50周年記念、第19回 OB 山行報告・・・10
・ 50周年記念山行（第20回 OB 山行）と 記念式典（小屋）・懇親会のご案内・・・4	・ 期別便り（37期）・・・12
・ 2008年度 OB 総会のご案内と OB 役員会報告・・・6	・ OB 会費納入のお願い・・・13
	・ OB 会報の発送と OB 会費未納について・・・13
	・ たずねびと・・・15

■ 50周年記念事業実行委員会より

50周年記念事業実行委員会・委員長 鈴木（9期）

世代を超えてYWV創部50周年を祝おう

2007年1月27日には41名もの実行委員や各期の連絡係が、YWV創部の発祥地とも言われている旧横浜国大工学部・弘明寺キャンパスにある横浜国大付属中学校にて、第一回目の実行委員会を開催し、記念式典、記念誌、ホームページ、記念山行、山小屋記念山行&式典と、五つの分科会を発足させ各記念行事の立案と実施を鋭意進めてまいりました。

記念山行では、5月連休時に台湾での海外登山(8名参加)、5月12日に丹沢・畦ヶ丸での記念登山(28名参加、20名懇親会参加)が既に行われ、大いにOB,OGの各期の交流が行われました。

一方、公式ホームページを立ち上げる準備を精力的に行い、8月には公開に漕ぎ着け、一般公開用と、YWVOB 会員用に分けて、創部以来の多くの資料を電子化し、その一部を皆様に提供し、共有化することができました。詳細は、ホームページ分科会報告をご覧ください。

更に10月に予定している“なえな山小屋”での記念山行と記念式典について山行分科会と山小屋式典分科会にて詳細をつめてきており、同様に詳細は、各分科会報告をご覧ください。

時期的には最後になる11月10日に、YWVOB 総会、YWV 創部50周年記念式典、懇親会を予定し、そのご案内と、参加と不参加の返信葉書を同封致しましたので、内容をご覧ください、必ず返信されるようお願い申し上げます。更に、各期連絡係からメール環境の有る方へはメールで、また無い方へは他の方法でお誘いのご案内を差し上げる予定ですので、各期同期お誘い合せのほど積極的に参加されますようお願い致します。

これらの諸記念行事に参加され、節目の一つである50周年を共に祝い、そしてYWVに籍を置かれ、いまもなお自然を楽しまれておられる仲間とお互いに世代を越えて話し合い、OB,OG 会員が今後の楽しみ方を更に発展させ、後輩にもワンダーフォーゲル活動を引き継ぎ、伝えて行きたいと思えます。

50周年記念式典のご案内

記念式典分科会会長 密島（6期）

2007年11月10日（土）

- 14:00～14:45** OB総会 横浜国大附属横浜中学校・レクチャールーム（旧工学部）
15:00～16:30 記念式典 横浜国大附属横浜中学校・レクチャールーム（旧工学部）
17:30～19:00 懇親会 ホテル横浜ガーデン

記念式典式次第		司会：密島・式典分科会会長	
1	開会のことば	6期・密島英二・分科会会長	15:00
2	主催者からの挨拶（2分）	9期・鈴木弥栄男・実行委員長	15:00～15:02
3	OB会会長からの挨拶（10分）	1期・嘉納秀明・OB会会長	15:02～15:12
4	来賓のご挨拶（各8分）		
	(1) 第2代YWV部長	田中裕先生	15:12～15:20
	(2) 第6代YWV部長	高木展郎先生	15:20～15:28
5	50年を振り返る（各8分）		
	(1) 1－10期	7期・服部七郎氏	15:28～15:36
	(2) 11－20期	19期・海野和明氏	15:36～15:44
	(3) 21－30期	29期・禅知明氏	15:44～15:52
	(4) 31－現役	50期・石倉研氏	15:52～16:00
6	各分科会報告（各5分）		
	(1) 記念山行分科会	11期・安藤貞利・分科会長	16:00～16:05
	(2) 記念誌分科会	10期・下村蓉子・分科会長	16:05～16:10
	(3) HP分科会	3期・吉村元孝・分科会長	16:10～16:15
	(4) 山小屋分科会	39期・後藤誠史・分科会長	16:15～16:20
7	エール交換		16:20～16:22
8	閉会のことば	6期・密島英二・分科会会長	16:23

・会場“横浜国大附属横浜中学校”へのアクセス；

正門前の写真、以降案内板あり。



16:30～17:15 移動

(総会・記念式典・会場 → 懇親会・会場)；市営地下鉄(弘明寺～関内；乗車時間8分)
 移動方法；総会，記念式典参加者は，市営地下鉄乗車にて移動します。

50周年記念懇親会のご案内

懇親会に参加して50周年を祝おう

懐かしいワングルの仲間と顔を合わせ、YWV 創部 50 周年を共に祝いましょう。
大勢の OB、現役部員のご参加をお待ちしています。懇親会のみ参加も大歓迎です。

YWV 創部 50 周年記念懇親会次第		(17:30~19:30)
		司会：20 期・西田雅典氏
1	開会のことば	20 期・西田氏 17:30
2	主催者あいさつ	46 期・塩野副委員長 17:30~17:33
3	来賓からのご挨拶	
	第 5 代 YWV 部長	米屋先生 17:33~17:39
4	乾杯	2 期・吉野氏 17:39
	— 歓談 —	
5	余興(各期テーマソング；配布歌集を活用)	
6	みはるかす合唱	指揮：6 期松本氏
7	閉会のことば	20 期・西田氏 19:30

会場：「ホテル横浜ガーデン」(2 階パーティー会場)

〒231-0023 横浜市中区山下町 254, TEL:045-641-1311

市営地下鉄関内駅、JR 関内駅から徒歩 10 分(横浜スタジアムの横,石川町側)

ホームページ <http://www.shonanhmg.co.jp/garden>

* 駐車場はホテル横にあります。(ワゴン車など大きな車は駐車できません)

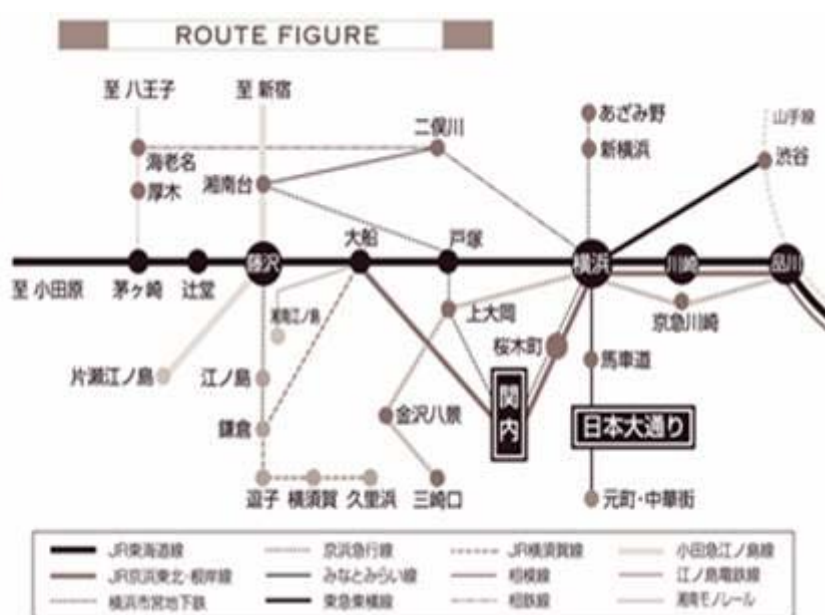
* 立食形式(周囲に椅子あり)、フリードリンク

・懇親会会費：6 千円を懇親会会場の受付にて承ります。(現役部員は無料です。)

・受付：17 時～

ホテルへのアクセス

元町・中華街へ 2分	日本大通り駅より、みなとみらい線利用
みなとみらいへ 3分	日本大通り駅より、みなとみらい線利用
横浜へ 6分	関内駅より、JR京浜東北・根岸線快速利用
新横浜へ 16分	横浜市営地下鉄利用
品川へ 22分	関内駅より、JR京浜東北・根岸線快速、 JR東海道本線利用
大船へ 26分	関内駅より、JR京浜東北・根岸線快速利用
川崎へ 13分	関内駅より、JR京浜東北・根岸線快速、 JR東海道本線利用
三崎口へ 45分	日本大通り駅より、みなとみらい線、 京浜急行線利用



■ 50周年記念山行と記念式典（小屋）・懇親会の案内

小屋委員長 後藤 (39期)

紅葉の苗名小屋で50周年を祝おう

50周年記念行事の一つとして、苗名小屋周辺の山行と記念式典(小屋)を予定しています。山行は、夜行発の妙高山登山コースと苗名小屋から笹ヶ峰の散策コースとを企画しています。紅葉も見ごろですので、体力や日程のご都合に合わせてお選びください。

13日夕刻には、苗名小屋で記念行事が催されますので、YWVの心のふるさと妙高で50周年を盛大にお祝いしましょう。多くの皆様のご参加を心よりお待ちしております。

【記念山行】

〔日程〕 2007年10月13日(土)、10月14日(日)

〔行先〕 妙高山(2445.9m)(10/13) 仙人池、トウヒの森(10/14)

〔地図〕 昭文社山と高原地図「18 妙高・戸隠」

〔集合〕 10月13日(土) JR妙高高原駅 6時10分

※マイカーでお越しいただける方はお申し込みの際その旨ご連絡ください。

〔交通〕 高速バス(越後交通)池袋東口 23:50~5:31 高田駅 5:36~JR~6:05 妙高高原駅

〔行程〕 **10月13日(土) 妙高山**

妙高高原駅=タクシーまたはマイカー=燕温泉 7:00-地獄谷 8:30-天狗平分岐 9:30-鎖場 10:30-妙高山山頂 11:30-天狗平 13:00-赤倉ゴンドラ乗り場 14:30-赤倉温泉 15:00-苗名小屋 16:00 [歩程約6時間30分]

10月14日(日) 仙人池、トウヒの森

苗名小屋 9:00-仙人池 10:00-トウヒの森 10:30-苗名小屋 12:00

〔持ち物〕 昼食、水、おやつ、雨具、防寒具、その他登山に必要な物



苗名小屋からの冬の妙高山



紅葉の朝の苗名小屋

【記念式典・懇親会】

〔日 程〕 2007年10月13日(土)
〔場 所〕 妙高高原 苗名小屋 18:00～
〔集 合〕 JR 妙高高原駅 17:00
〔経 路〕 14:04 東京発 あさま527号 ～ 15:48 長野着
16:14 長野発 信越本線 ～ 16:54 妙高高原着

※マイカーでお越しいただける方はお申し込みの際その旨ご連絡ください。
※懇親会にてお酒を飲まれる方は、飲食後に運転なさらないようにしてください。

〔プログラム〕 13日は次の予定となります。

時 間	内 容
17:00	妙高高原駅集合⇒車で苗名小屋に移動 記念登山に参加される方は直接小屋へ集合
18:00～	記念式典開始 1. 会長の挨拶 2. 来賓挨拶 3. 記念植樹 4. みはるかす・山の歌合唱 5. 記念撮影 など
19:00～	懇親会(小屋前広場にてバーベキュー)

【申し込み】

参加ご希望の方は、9月20日までに下記のいずれかの担当者に申し込み事項をご連絡ください。
懐かしい苗名小屋に多くの皆様が集われることを、心よりお待ちしております。

〔申し込み事項〕

- ① どのプログラムに参加されるか (妙高山登山／仙人池散策／記念式典／懇親会)
- ② 希望する宿泊先 (苗名小屋／五八木荘)
- ③ 交通手段 (電車／マイカー)

安藤 (11期)

小野恵美子(34期)

後藤 (39期)

石川 (41期)

■ 2008年度OB総会のご案内

会長 嘉納 (1期)
幹事長 石川 (41期)

2008年度のOB総会を下記の通りに開催します。
今年は総会後に記念式典、懇親会を予定していますので審議時間が大変短くなります。
創部50年目という記念すべき年の総会に是非ご参加下さい。

日時：2007年11月10日(土) 14:00～14:45

場所：横浜国大附属横浜中学校・レクチャールーム(旧工学部)

*アクセスは2ページの横浜国大附属中学校の案内をご覧ください。

議題：2007年度OB会活動報告、会計報告(一般会計・小屋会計)、会計監査報告

2008年度OB会活動計画、会計予算(一般会計・小屋会計)、役員人事、新会員承認
その他

■ OB役員報告

幹事長 石川 (41期)

第2回役員会を下記要領で実施しました。

1. 日時：2007年8月5日(日曜日)14:00～18:00
2. 会場：明大(生田)
3. 参加者：嘉納(1)、吉野(2)、下村(10)、安藤(11)、横溝(21)、石川(41)
50周年記念事業実行委員会、鈴木実行委員長、塩野副委員長、吉村HP分科会長
その他委任の意思を確認した役員：後藤(39)、覚田(40)
4. 議題：① 50周年記念事業
ホームページ(HP)分科会、記念誌分科会、山行分科会、山小屋式典分科会からそれぞれ報告があった。
記念誌分科会についての議論中に、記念誌について雑誌「山と溪谷」に投稿する件について嘉納会長より提案があり、個人情報に十分留意した上で対応することで役員会の承認を得た。
② その他
 - ・小屋委員、編集委員より報告があった。
小屋委員の志賀会計担当が多忙のため、交代することとなった。
 - ・50周年記念事業を機に、新規委員会(HP委員会・部史編纂委員会)を設立する件について提案があった。
内容は総会決議となるため、会則の変更を含めて次回OB総会までに対応する。
 - ・特別準備金5238291円は、名義を個人名からOB会会計幹事にするため振り分けを行った。

*次回役員会は10月21日(日)14:00～ 場所：明大(生田)

■ YWVホームページのお知らせ

HP 分科会長 吉村 (3期)

新しい YWVOB 会の HP (<http://ywvob.com/>) を開設しました



50周年記念誌の発行を目指して、2005年に非公式のHPを開設し、多くの皆さんの協力を得て、OB会の公式記録、現役のワンダリング記録、関連する映像記録などを多岐にわたって整備、アップロードし、記念誌発行のための役割を果たしてきました。

新しいHPは、これらの資料をできるだけ一般に公開することを目指した公開用のHPと、会員の一層の交流を図ることを目指した会員用のHPから構成されています。

1. 主なテーマ

会員用には以下のテーマを見ることができます。これらには数千枚の写真や画像が収められており、懐かしい写真もみることができます。



個人情報の保護を配慮しながら一般公開用、会員用の開示する範囲を区別しております。会員用は同じテーマでも内容が異なります。(HPの目次を見てください)

OB会員は1期から46期まで数百人の会員がいます。身の回りの旅行や趣味など、ちょっとした記事を気軽に投稿できるようにしました。自分の近くの期の人たちはそんな投稿を期待しております。

2. 会員の入口

左側に会員入口があります。ユーザ名とパスワードを入力します。
ユーザ名とパスワードは会員一人一人に別途、連絡いたします。

■ 横浜国立大学ホームカミングデーのご案内

平沼 (8期)

Congratulation on the 50th anniversary of YWV

「大学が全学同窓会と一緒にOBの方々を大学(家庭)に温かくお迎えします!!」

Welcome to the Home Coming Day (HCD) of YNU !!
Keep in your schedule note Nov.10, '07 at Tokiwadai,
Would you like to keep cool?
Come on to Tokiwadai Campus 11/10 am10:00~pm3:30!!

YWVOBの皆様、母校の浜国立大学が独立行政法人となり、独自の特色を持った大学としてスタートを切ることになりました。

キャンパスも、かつての弘明寺、雪ノ下、清水丘から旧程が谷ゴルフ場跡地(常盤台キャンパス)に総合大学として移転しました。

このような状況下、大学として、教授会・OB・学生・事務局が一体となって新生横浜国大学を特色あるものにしようという機運が盛り上がり、其の一環として「ホームカミングデー(HCD)」をスタートさせることになりました。

その結果、昨年11月に第1回目のHCDが800名以上の参加を得て成功裏に行われました。昨年のHCDでは各界の名士によるパネル討論会や、各学部の有名教授による講義や研究室の公開等が行われ、多くのOBの方々が久しぶりに最近の学問に触れる機会をもたれました。

今年は第2回目として、**11月10日(土曜)10時から3時半まで**、研究室の公開や、各界の名士・有名大学教授による講演会を行い、OBの皆様在最近の学問に触れる絶好の機会を提供しようという事になりました。勿論今大きな問題となっている環境問題のテーマもあります。

YWVOBの皆様、横国大(常盤台キャンパス)での最近の学問研究の一端を知り、知的好奇心を満たしませんか。11月10日(土曜日)に是非常盤台キャンパスへお越しください。横浜駅西口から直行バス(無料か100円)が出ます。

当日の行事内容とスケジュール (随時情報を更新いたします。詳細はしばらくお待ちください。)						
9:00～	10:00 : ～ 10:30	10:45～11:45	12:00～13:00	13:20 ～ 15:20		
受付 受付 場所 たまり 場 第一食 堂 	学長基調 講演 教育文化 ホール 大ホール 「横国大は こんなにい い大学」 皆おいでよ 学長 飯田嘉宏	講演会① 講演 1 講演 2 講演 3 講演 4	講演会② 講演 5 講演 6 講演 7 講演 8	懇親 会 体育 館 		
		教育系			学部長プレゼン 「教育人間科学部はこんながいい」	教育人間科学部施設紹介
		社会科学系			学部長系長プレゼン 「経済・経営・法律系はこんながいい」	経済系・経営系・法律系 学生プレゼン
		工学系			学部長プレゼン 「工学部・環境情報はこんながいい」	工学部・環境情報施設紹介
		フリー見学			上記の各学部を自由に見学	上記の各学部を自由に見学
		9:00～13:00			一息入れたい時、お友達とゆっくり話したい時等にご利用下さい。	
		たまり場 第一食堂 受付場所 *学長基調講演等の 中継も行います			お茶、缶ジュースなどご自由にどうぞ コーヒー、缶ビールは有料となります 	
					11:00～14:00 スポーツイベント 「親子でスポーツを」	



ホームカミングデー参加申込みの方は、9月からオンラインで受け付けします。

FAXでのお申込み：各同窓会事務局へ用紙をご請求ください。

【問い合わせ先】

ホームカミングデー事務局
 〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台 79-1
 横浜国立大学内 教育文化ホール HCD ルーム
 TEL: 045-339-3037(不在の時もあります)
 E-Mail: hcd2@nuc.ynu.ac.jp



■ 50周年記念・第19回OB山行報告（玉山・哇が丸）

【50周年記念登山 玉山山行報告】

安藤（11期）

〔日程〕

- 4月29日（日）成田—台北 天成ホテル
4月30日（月）マイクロバスと台湾高鉄に分かれ台北発＝嘉義駅にて合流＝阿里山大飯店
5月1日（火）阿里山＝上東埔＝塔塔加－孟緑亭休憩所－西峰観光台－大峭壁－排雲山荘
5月2日（水）排雲山荘－玉山山頂－排雲山荘－大峭壁－西峰観光台－孟緑亭－塔塔加＝
上東埔ロッジ＝台北康華ホテル
5月3日（木）台北観光（關渡自然公園、故宮博物院、士林夜市）
5月4日（金）台北－成田 6名帰国
5月7日（月）台北－成田 2名帰国

〔参加者〕

郡司（4）松本（7）佐木（8）下村（10）丸山（11）安藤（11）榎本（12）小野（34）
(敬称略)

台湾の玉山の海外山行は、50周年記念行事として計画され、広く参加者を募り8名もの大勢の方が参加され、無事全員山頂を踏んで帰国できたことを報告します。

玉山は、3952mと富士山よりも高いため高山病の心配もしあり、また参加者の平均年齢が58歳と体力的にも衰えてきていることもあって、事前に六石山でトレーニング登山をしました。そのほか、各自、四国遍路、大山、六石山でトレーニングをしたそうです。

台湾の登山は、事前許可制でガイド付きで行うことになっているため、旅行の手配はすべて旅行会社に依頼をしました。そのため、一般公募の登山と変わらない行程になりましたが、ワングルOB会という仲間で、和気藹々と時には助け合いながら、みんなが一体となって登ることができたワングルらしい山行でした。

1日目は、成田から台北への移動で、成田では鈴木記念事業委員長に見送りをしていただき、8名の海外登山隊が出発しました。

2日目は、阿里山まで移動して、阿里山大飯店に宿泊。阿里山まで、麓の嘉義からマイクロバスで一気に2200mを2時間半で登りました。嘉義は、まさに亜熱帯という晴天で日差しが強い天気でしたが、阿里山は杉の木の生える温帯気候へ変わり、阿里山駐車場に到着したときは、土砂降りの雨でした。幸いすぐに雨は上がりましたが、肌寒い気温でした。夜は翌日からの登山に備え、翌日の天気、装備などを打ち合わせる作戦会議を開きました。この2200mにある阿里山での宿泊が、高度順化に役立ったようです。

3日目は、いよいよ登山開始となりましたが、天気予報が外れて塔塔加を出発するときは大雨となり、前から心配していた通りとなりました。幸い登るに連れて小降りとなり、太陽にガンガン照らされるよりはましな登りでした。ガイドの林さんは、台湾百岳を登ったというベテランで、コースタイムよりかなり早く排雲山荘へ着きました。山荘は玉山へ登るこのメインルート唯一の小屋で、100名弱が宿泊できますが、登山者はこの宿泊人数で制限されており、山が人の手で荒らされるのを防いでいます。その日は、翌日に備え7時にはシュラフに入って休みました。

4日目は、2時前に起きて用意されたお粥を食べて山頂を目指し出発。ヘッドランプを点け、月明かりの中を黙々と登って行きました。他のグループの明かりを前後に見ながらジグザグのガレ場をひたすら登り、岩場を登っていく頃には薄明るくなっていました。玉山北峰からの道を合わせ、いよいよ頂上への最後の急登となりましたが、風が強く、前夜ほとんど寝ていなかったこ

ともあって一番苦しいところでした。登り終えるとそこは頂上でした。全員の心がけが良かったせいもあり玉山山頂から 360 度の展望を楽しむことができました。頂上からの日の出は雲の中で見られませんでした。お茶を飲んでいる間に待望の太陽が顔を出して記念撮影をして下山しました。小屋で荷物をまとめて、昨日来た道を下りてきましたが、太陽が後ろから照る中で、昨日は雨で見えなかった、日本の山とは違う峻険な山の景色を楽しみました。

お昼に登山口に着き、近くの山荘で昼食を取りましたが、いざビールで乾杯をしようとビールの注文をしたところ、“没有”でした。台湾では、山中でのアルコール類の販売はしていませんでした。これは、今回の山行の中で最大の誤算でした。全員意気消沈で出された料理も半分以上残してしまいました。結局、打上は、台北のホテルに戻ってから盛大に行いました。

5 日目は台北で観光して、帰国しました。

玉山は台湾最高峰で台湾人にとって一度は登りたい山になっており、日本人にとっての富士山と同じです。われわれが登った時は、台湾では平日だったにもかかわらず、若い人から年輩の人まで登っていました。“加油、加油”（チアヨウ）“ガンバレ、ガンバレ”とすれ違う人に声を掛け合っていました。ルートは整備が行き届き、太いパイプの基礎の上に板を張った頑丈な橋が、危険個所に架けられ



登頂を果たした玉山をバックに

ていました。台湾の陳水扁総統も数年前に登っていて、その時道を整備したのではないかと思います。

今回の海外山行は、台湾という食の国でしたので、食事はおいしく毎回満腹になるまで食べていたので、帰るときには体重が増えていたという幸せな山行でした。機会があれば、また海外の山に登りたいと思っています。

【50 周年記念登山 哇が丸山行報告】

白神 (7 期)

〔日程〕2007 年 5 月 12 日 (土) ~13 日 (日)

登山当日は快晴、登山参加者は同伴家族含め 28 名、当日の中川温泉宿泊者は 20 名となった。

OB、現役共健脚者揃いでメンバーには、創設時の一期から本年入部の新人までおり、途中新旧の会話や、現役時の思い出を語り合う姿も見られた。頂上直下で宝くじを景品とする抽選会を行い、盛り上がった。

夜の宴会では、各期の自己紹介、スライドによる台湾遠征報告などが活発に行われた。



西丹沢・哇が丸山頂にて

■ 期別便り（37期）

伊藤

働き盛りの30代も半ばを迎え、家庭での2歳男児の父親業との両立でなかなか山どころではありません。その間隙を縫うような時間が少しでもあれば、嫁さんの冷たい視線にも何とか食い下がって、遠慮しいしい岩場に出勤しております。

小野裕

茨城県日立市在住。同僚と年に一回の山行を行う程度。たまにボルダリングもするが志が足りず、学生時代のファンクラブの域を脱していないのが残念。

佐々

東京都江戸川区に住んでおります。2007年7月に結婚しました。まだ同居もしていないので実感はわいておりません。相方から、「環七通り」を「カンシチ(勘七)通り」と読んで笑われました。山は諸事情によりしばらく行っていませんが、ぼちぼち復帰します。どなたか来年あるいは再来年に葛根田川あたりどうでしょう。

富士田

大学院を修了後、京都で研究を始めて、はや5五年過ぎです。研究活動や京都での一人暮らしでもYWVで培った体力や適応力が役にたっています。たまに大文字山や六甲山などの近くの山へ日帰りで登り、リフレッシュしています。

堀越

昨年10月に長女が誕生しました。それ以降は、子供中心の生活になっています。社会人になってから、ほとんど登山らしいことをしていなかったのが夏休みぐらいに、家族（3人）で軽いハイキングでも行こうかと計画中です。

柳田

昨年より風力発電事業に携わることになり、横浜から長崎勤務となっています。長崎での生活も早1年を過ぎ、日常においてもゆとりをもって過ごせるようになってきました。今年のGWには宮之浦岳、6月にはミヤマキリシマが咲き誇る大船山にも登り、九州地方の山々を楽しんでいます。また、夏休みには由布岳と由布温泉を楽しむ予定にしています。



菅平・根子岳のクルマユリ

2007.7.25

撮影：谷上（4期）

■ OB会費納入のお願い

会計幹事 吉野 (2期)

会報 36 号に同封いたしました払込取扱票は、2008 年度年会費、前納会費、寄付等をお振込いただく用紙です。取扱いは郵便局で、払込手数料は窓口 100 円、ATM 60 円です。

なお、07 年 10 月 1 日より郵便局は日本郵政公社から株式会社ゆうちょ銀行となり、払込手数料が窓口 120 円、ATM 80 円に変更になります。

口座番号は変更ありません。払込取扱票はそのまま使用できます。

- ・年 会 費：2,000 円 (07 年 10 月から 08 年 9 月までの 2008 年度の年会費)
(宛名ラベルに「今年度会費は納入済」という表示がある人は納入不要です)
- ・前 納 会 費：10,000 円 (2008 年度～2013 年度の 6 年間の年会費前納分)
- ・寄 付 金：(一般、小屋) どちらかを○で囲んで
- ・最新名簿代金：500 円 (郵送希望者のみ)

払込取扱票を紛失した場合は、郵便局 (ゆうちょ銀行) で用紙を貰い、下記口座番号と加入者名を記入してお振込ください。

口座番号:00290-3-2419

加入者名:横浜国立大学ワンダーフォーゲル OB 会

■ OB会報発送とOB会費未納について

総務委員長・会計幹事 吉野 (2期)

OB 会報の発送方法については、2005 年度より OB 会費未納会員へは年一回の総会案内号以外の会報は発送しないこととなりました。

今回の OB 会報第 36 号は総会案内号ですので全員に発送いたします。

下記会報発送方法をご理解いただき、OB 会費納入にご協力いただきますよう、あらためてお願いいたします。

《 OB 会 報 の 発 送 方 法 》

1. 過去5年間、OB会費未納の会員(入会后10年以内の会員を除く)については、総会案内号を除きOB会報の発送を停止します。
2. OB会費振込用紙及び総会出欠ハガキを同封する号(総会案内号)は、会員全員を対象に発送します。

過去 5 年(2003—2007 年度)OB 会費未納の方

07.7.10 現在

38 期以下の若手会員は除いています。

■ たずねびと

名簿係 渡邊 (36期)

いつも名簿作成にご協力いただき、ありがとうございます。おかげさまで現在名簿には579名の会員が載っておりますが、残念ながら下記28名の方の現住所等が不明となっており、会報等をお送りすることができずにおります。下記の方々の現住所等をご存知の方がいらっしゃいましたら、名簿係までご一報いただけますよう、お願いいたします。なお勝手ながら、お知らせいただく情報は、過去1年以内に年賀状等で確認が取れているものとして下さい。ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

<連絡先>

名簿係 渡邊 (36期)

たずねびと(敬称略)

1期 小野三郎	16期 本多賢	22期 西田博司	28期 山本先隆
5期 高垣(深尾)昌夫	16期 岩船(長田)恭子	22期 松田裕	29期 山本博之
7期 北見澄代	16期 清水(山崎)恵子	23期 荒井吉則	36期 はが巖
10期 佐藤一祥	19期 大橋(横溝)玲子	23期 湯浅祐光	38期 岡安貴裕
12期 山下久男	19期 久保守	23期 神谷康弘	
12期 武者(桐生)真紀子	19期 白川正	24期 広瀬芳秋	
13期 赤松明	20期 青山功	26期 藤原芳樹	
15期 岩船芳人	20期 林(田中)栄美子	28期 木網祐貴	



OB 会員の絵手紙



根子岳を目指して白樺林の中を登る
2007,7,25

YWVOB 会会報第 36 号

発 行 : 横浜国立大学ワンダーフォーゲル部 OB 会
発 行 日 : 2007 年 8 月 31 日
発 行 責 任 者 : 嘉納 (1)
編 集 責 任 者 : 編集委員長 下村(10)
編 集 : 編 集 委 員 松本(8)
印 刷 所 : 株式会社 カワチヤ・プリント (東京都港区新橋 5-31-7)
編集にご協力いただいた皆様、ありがとうございました。